

—産山村サテライト開催—
対話之文化まつり

13:00~15:00

第1部

かがやき教室 体験会

(介護予防教室)

15:20~16:50

第2部

あなたの想いに寄りそうノート講座

(「もしバナゲーム*」を通じた対話型世代間交流)

講師：林 寿恵 氏 (阿蘇地域リハビリテーション広域支援センター)

ファシリテーター：高橋 正郎 氏 (産山村社会福祉協議会)

☆産山学園7年生も「子どもヘルパー活動」として参加します！

*「もしバナゲーム」とは…もしものための話し合いから自分の価値観を考え、皆で対話するゲーム

17:00~20:00

第3部

対話イベント「チイキって何？」

(オンラインでの中継)

対話のきっかけ人のお話を聞いて、感じて参加する「大円対話の場(トーキングサークル)」の中継を視聴します。対話のきっかけ人の日頃考えていることをきっかけとして皆さんと共に「チイキとは何か？」を考え始めるきっかけです。



対話のきっかけ人



ふじわら たつし
藤原 辰史

1976年北海道生まれ
京都大学人文科学研究所准教授
専門は農業史、食の思想史

『分解の哲学(青土社、2019年)』でサントリー学芸賞、『給食の歴史(岩波新書、2018年)』で辻静雄食文化賞、『ナチスのキッチン(共和国、2016年)』で河合隼雄学芸賞、また、ナチスの食研究全般に対して、日本学術振興会賞を受賞。他にも『食べることを考えること』『縁食論』など多数出版。



もりかわ もりみち
森川 すいめい

1973年東京都生まれ
精神科医・鍼灸師
クリニックで訪問診療などを行う

2003年にホームレス状態にある人を支援する「TENOHASHI」を立ち上げ現在も活動中。日本に医師として初めてのオープンダイアログトレーナー資格取得者2名のうちの1人。「NHKこころの時代」など出演も多数。『漂流老人ホームレス社会』『感じるオープンダイアログ』など多数出版。

おぼた
小畑 あきら

置きベン(まちにベンチを増やす活動)を初め、医療や福祉の領域で取り入れられている、オープンダイアログやリフレクティング、修復的対話、ユマニチュードなどを町や地域へ広めると町や地域はどうなるのかを研究。

どなたでも参加できます！

日時：12/13(水)

場所：産山村基幹集落センター

プログラムの出入りは自由！お気軽にご参加ください！

第2部「あなたの想いに寄りそうノート講座」に参加される方は12/11(月)までに電話予約をお願いします。

問 産山村社会福祉協議会 ☎23-9300